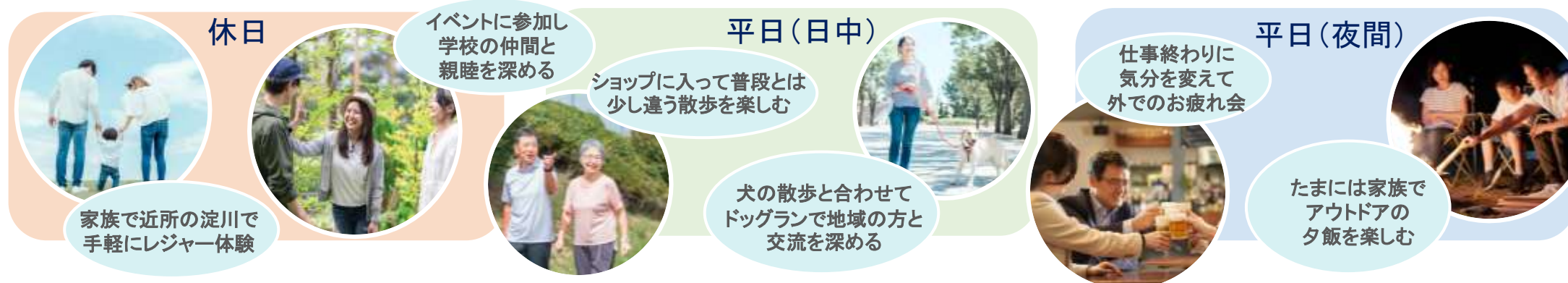


大阪市淀川区淀川河川敷十三エリア整備・運営事業
事業計画書（案）

現在の淀川河川敷は、平日は地域の方の散歩や運動、休日はバーベキューやピクニックなど、地域の方々が日常的に足を運ぶ場として定着しています。

私たちは、**日常的に利用しやすい**飲食・サービス事業や舟運事業、休日に利用したいイベント事業や自然体験事業を提供することで、よりいっそう**足を運びたくなる**河川敷を目指します。また、夕方以降も魅力ある事業を展開し、**利用者が少なかった時間帯にも人々が憩える場を提供**します。

平日も休日も、昼も夜もにぎわいを生み出す3つの事業領域



【年間の想定来客人数】

全事業を合わせて
約30万人/年

※内訳は、各事業のページに記載

■ 飲食・サービス事業

ハード事業1 淀川堤市 ミナモ十三 ▶ P.04

- ・屋台飲食店を30店程度配置し、選べる楽しさと何度でも来たくなる横丁をつくります。



ハード事業2 バーベキューエリア ▶ P.05,06

- ・淀川の眺望を楽しみながらのバーベキューや、家族・ペットと過ごせる場を提供します。



舟運事業 万博会場など複数航路で運航 ▶ P.09

- ・大阪・関西万博会場への連絡船や、十三エリアを周遊する遊覧船など、多様な航路で舟運を展開します。



■ 自然体験事業

ハード事業3 (仮称) ネイチャーセンター ▶ P.07

- ・子どもを対象に、淀川の自然環境を活かした自然学習や外遊びを展開します。



■ イベント事業

ソフト事業 イベント・交流スペース ▶ P.08

- ・地域と連携し、自然・食をテーマとしたイベントを開催します。



出典：yogibo JAPAN

- ・音楽や映画、アートなど、地元の住人たちと協力し、十三ならではの魅力を発信するイベントを開催します。



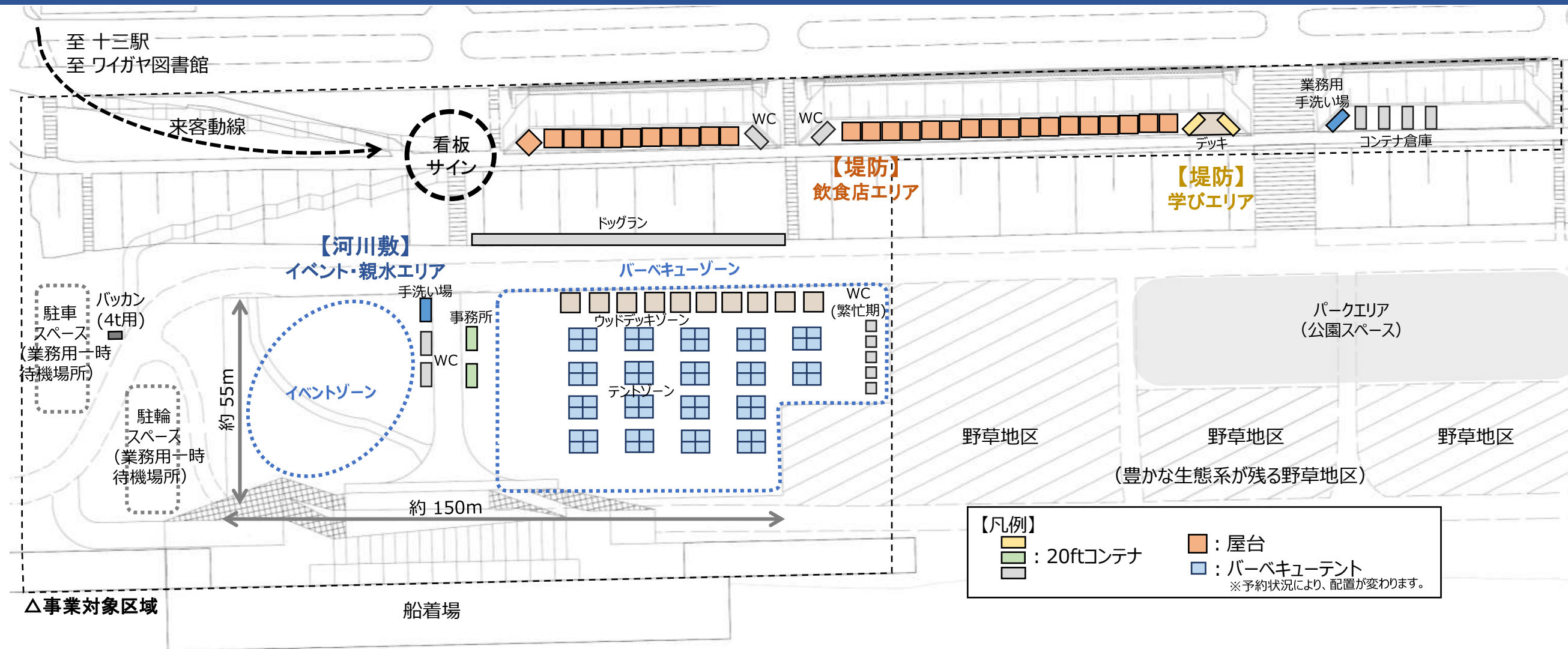
出典：国政木曾三川公園



出典：二子玉川経済新聞

堤防部分は、飲食店や健康・自然体験などのサービス店舗を配置することで、**多様なプログラムで多世代が楽しめる事業**を展開します。
河川敷部分は、水と緑を感じられる約8000㎡の開放的なスペースを活かしてバーベキューゾーンとイベントゾーンを配置し、**ゆったり過ごせる事業**を展開します。

全体配置図（S：1/1200）



施設概要

◆屋台（一部コンテナ）を活用した施設計画

堤防や河川敷に設置するハード施設には**屋台（一部コンテナ）**を活用し、にぎわい感を高めます。
コンテナ施設は20ftの物を使い、内装を変えていくことで様々な事業業態に柔軟に対応します。

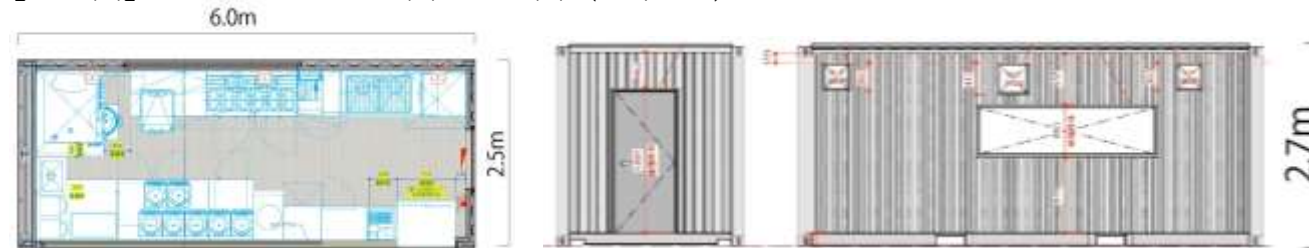
◆出水時に撤去しやすい設置方法

コンテナ施設は、土間コンクリートに緊結しつつも出水時には**取り外しが可能な構造計画**を検討します。
インフラの配線や配管も**アタッチメント**などで簡易に外せる方式とし、撤去のしやすさに配慮します。

【参考図】屋台平面図・断面図（S:1/100）



【参考図】20ftコンテナ平面図・立面図（S:1/100）



- ◆ 施設延面積：645㎡
- ◆ 施設高さ：2.7m
- ◆ 電気設備：低圧引込
- ◆ 空調設備：空冷ヒートポンプパッケージ方式
- ◆ 衛生設備：上水・北側道路より引き込み
下水・北側道路へ排水（屋台はグリーストラップ設置）
- ◆ ガス設備：必要に応じてプロパンガスを設置

本事業は、施設の整備条件など**各関係者との十分な協議**の中で事業内容を詰めていく必要があります。そのための主要な3つの課題の推進に注力します。

①事業着手後、早急に市・区及び河川事務所との協議体制を整え、年内を目標に詳細な事業条件や整備条件を検討し、決定します。

②同じく事業着手後、早急にハード事業の設計・整備を行う上で、建築確認申請の要否判断を検討・協議にて決定します。

③地域の方々を招待するプレイベントを実施し、地域の期待感と事業への理解を高めます。

事業工程表																						
		2023年度							2024年度										2025			
		9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	
マスター		▼選定通知		▼協定・契約													③プレイベントでオープンへの期待感を高める				▼プレイベント	
		各種協議 / 施設・インフラ設計										設計・占用許可申請		工事		開業準備						
行政協議		協議体制構築		施設・事業条件協議										河川の占用許可申請								
		①各関係者と課題を確認し、協議体制を構築			②建築設計においては、敷地条件・開発協議・インフラ整備条件・確認申請の課題など 事業計画においては、占有面積の算出方法・運営可能時間・公園や船着場の使用方法など それぞれ、検討の前提となる条件を固めていく																	
事業計画		テナント事業者選定																				
施設計画	設計	各種事前協議・設計条件確定			施設・インフラ計画（基本設計）							施設・インフラ計画（実施設計）				監理						
	施工	堤防部盛り土の造成完了										▼建築物の設置が不可であることが確定		▼電気の引込条件が確定		▼河川事務所の現地確認 →工事条件が確定		基礎 インフラ		施設 設置		

各種配慮事項

◆周辺住民・環境への配慮

【周辺住民への配慮】

- ・北側の近隣住宅に対して、環境庁の『騒音に係る環境基準』に留意することにより配慮します。
- ・ゴミの臭い防止のため、廃棄物収集業者と連携し、確実な**ゴミ回収**を実施します。

【環境への配慮】

- ・定期的に河川敷の**日常清掃**を実施します。
- ・ゴミ箱は**店舗内のみ**に設置し、一般ゴミを持ち込ませないよう配慮します。

◆出水時の撤去計画

- ・淀川に向けて**監視カメラ**を設置し、常時河川水位を確認できる環境を整備します。
- ・出水時は**災害対策本部**を立ち上げスムーズに施設の撤去を遂行します。
- ・**ユニック**や**けん引車**で東側から順次コンテナを運び出し、車両に積載して撤去します。
- ・建築計画が確定次第、速やかに**安全対策マニュアル**（P10 リスクへの備え参照）を作成し、出水時の撤去計画についてもマニュアルに整備します。

◆景観配慮

- ・白のテントを主体としたデザインとし、緑豊かな河川敷と**調和する色彩**とします。
- ・コンテナのデザインは、近隣住民に対して華美な景観にならないよう配慮します。
- ・堤防上部のコンテナ施設の配置は、1m程度の間隔を空けて設置することで、北側道路に対して**圧迫感を与えない**配置とします。

◆河川利用者に対する配慮

- ・河川敷の**通路には物を設置せず**、河川利用者の通行を妨げないよう配慮します。
- ・長期的な**修繕計画**を立て、施設の老朽化などによる被害を防止します。
- ・定期的に河川敷の**日常清掃**を実施します。

堤防部分には、飲食店をはじめサービス＆学びの店舗を整備します。店舗は東西横一列に配置し、対岸の夜景を存分に楽しんでいただけます。飲食店においては、近隣住人が散歩ついでに立ち寄れる小規模店舗を集約したカジュアルな屋台村として店舗を配置。

日常的にまたは特別な日にと、あらゆる客層、あらゆるシーンに対応できるジャンル豊かな店舗を誘致します。

【席数】300席（屋台内）240席（テラス部分）【業種】飲食【営業時間】11:00～23:00(予定、近隣との調整によって24時までの営業も検討)

【利用者層】ファミリー層・サラリーマン・学生など【利用者数(年間)】13万人

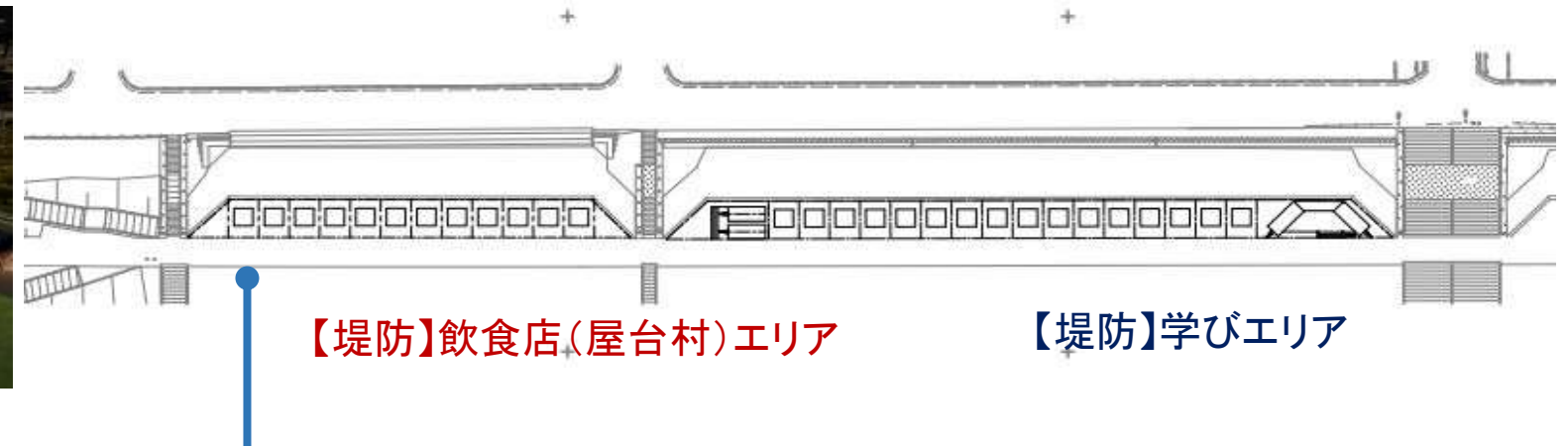
事業内容

▼エリアイメージ



パース 左（正面からの鳥瞰）右（東側からの鳥瞰） 30店舗の屋台が立ち並ぶ様子

▼配置イメージ



【堤防】飲食店(屋台村)エリア

【堤防】学びエリア

◆屋台村（30店舗）

◆気軽に使えるミニフードパーク

屋台村は小規模の30店舗を誘致予定で、博多の屋台村とは違い、有事の際以外は常設となり日々撤去をしない形態で営業します。飲食店の営業許可を取得して運営する屋台村では国内最大規模となります。

大阪市内、大阪府下から主に地元の飲食店を中心に誘致し、近隣住民や散歩にきた人が気軽に立ち寄れるミニフードパークとして展開します。



パース （堤防斜面から見た様子）



パース （屋台がにぎわう様子）

予定店舗

- おにぎり
- 焼き鳥
- おでん
- 大衆酒場
- 串カツ
- タコス
- ハンバーガー
- ラーメン
- BAR/スナック
- スイーツ
- etc・・・

多目的広場は都市型BBQ施設として整備します。準備や後片付けまですべてスタッフが手配。冷凍コンテナを常設し、A5ランクの高級肉などワンランク上のBBQをリーズナブルに楽しんでもいただけます。また、十三エリアの魅力はなんといってもロケーション。対岸には高層ビルが並ぶ、都心ならではの景観が広がります。「隣のタープで遮られて景観が見えない」ことがないように見通しのよい通路を設け、**どのサイトからも都心の景観を楽しんでもいただけます。**

【席数】約100サイト【業種】飲食【営業時間】10:00～17:00 ※週末は予約制で18:00～22:00【利用者層】ファミリー層・サラリーマン・学生など【利用者数(年間)】8万人

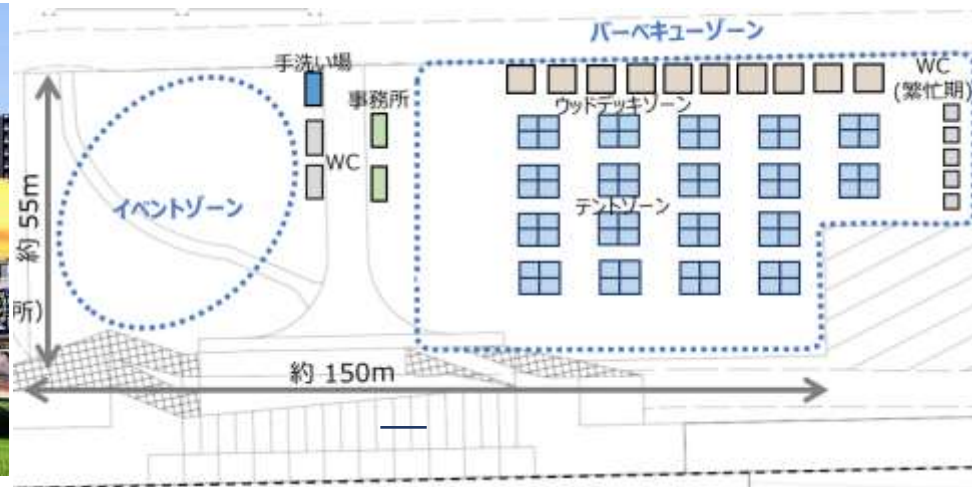
事業内容

▼エリアイメージ



出典：川崎競馬場 バーベキュー広場

▼配置イメージ



◆西中島との棲み分けを図ったBBQエリア

多目的広場の東側スペースはBBQサイトとして活用します。基本的には予約制とし、タープやテーブル、イス、炭、食材までスタッフが準備します。概ね100区画を準備し、ハイシーズンにはBBQ業者と連携してピーク時の対応にあたります。また、食材、ドリンクなどのバリエーションやウッドデッキゾーンの設置などで、**西中島地区との競合を避けるために、棲み分けを図ります。**

都市型BBQを楽しむ4つのPOINT

POINT 1

◆広々としたプライベート空間

1サイト3m×5m程度と**スペースはゆったり**。約3m四方の横幕付きタープテントを設置し、プライベートな空間を演出します。タープ前の空間と通路からは対岸の景観が楽しめます。横幕付きなので、**突然の雨でも安心**して楽しんでもいただけます。



出典：Quictent

出典：zmayastar

POINT3

◆山では見られない景観

十三の対岸には都心ならではの梅田のビル群が見渡せます。どのBBQサイトからも見えるように、**見晴らしの良い通路を設置。ダイナミックな都市景観**が楽しめます。また、夜景を楽しめるよう、ナイトBBQも開催予定。



出典：note

出典：cities night view

POINT2

◆ワンランク上の食材を用意

冷凍コンテナを常設し、**A5ランクの高級肉やトマホークステーキ（オプション）**など、バリエーション豊かに楽しんでもいただけます。

また、ワインなどのドリンクも豊富に揃え、都市型ならではのBBQを楽しんでもいただけます。

▼トマホークステーキ



POINT4

◆ウッドデッキゾーン

敷地の一部に、約6m×6mの**ウッドデッキゾーン**を設置します。可動式のウッドデッキやゆったり快適に座れるソファ、テントや椅子まで**ラグジュアリー感あるもので統一**。眼前に広がる景観を特等席で眺めながらのBBQを楽しんでもいただけます。



出典：あそぼーさが

多目的広場の一角に、大切な家族の一員であるペットを連れてきても安心して楽しめるようドッグランを併設。さらに**ナイトタイムエコノミーを楽しんでいただくため**の夜のコンテンツも用意。BBQを含めてECO（エコ）を1つのテーマとして、水を再利用できる仮設トイレやソーラー発電を活用した街灯の設置、廃棄食材をコンポストで堆肥化させた肥料での花植え（花壇の造園）など、**環境に配慮**したさまざまな取り組みを行う予定です。

【業種】広場 【営業時間】10:00～17:00 【利用者層】ファミリー層・サラリーマン・学生など 【利用者数(年間)】0.5万人

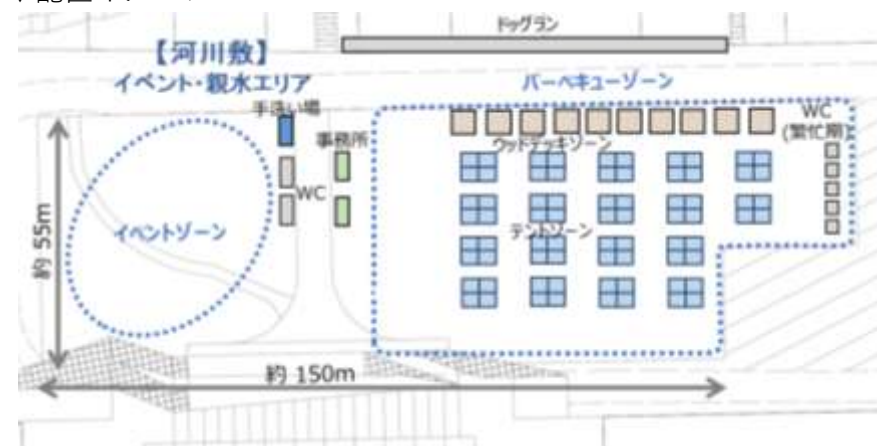
事業内容

■エリアイメージ



出典：都会の農園

▼配置イメージ



◆多彩な楽しみ方を提案

ペットを安心して遊ばせられるよう、簡易的なドッグランを設置します。バーベキューを利用しなくても、**近隣の住民たちがふらりと立ち寄れる**空間です。



出典：グラインドコーポレーション

◆ナイトタイムエコノミーを推進！



◆週末には**ナイトBBQ**を開催

ハイシーズンの週末には、**ナイトBBQ**を実施します。



出典：千葉日報

◆**キャンプ**にも対応

キャンプも楽しめるよう週末に宿泊も受け付け、テントの設置までスタッフが補助。**都会夜景を眺めながらのキャンプ**は格別です。可動式の着火用具を貸出し、安全対策を万全にキャンプファイアーも楽しんでいただけます。



◆**スタッフ常駐**で安心

ナイトBBQやキャンプ開催時はスタッフが常駐。緊急時でも対応でき、**女性のソロキャンプでも安心です。**

◆ワンちゃんも喜ぶ**長いドッグラン**

幅3m×長さ100mの可動式ドッグランを設置。運動ができていないペットに存分に体を動かしてもらいます。**ペットの排泄物はコンポストに集約し、肥料として花壇に利用**します。

また、堤防部に洗い場を設置。BBQの備品の洗浄と別に、ワンちゃん専用のミニ洗い場スペースを設け、ドッグランで思いっきり遊んだワンちゃんの、汚れを落として帰ってもらえます。

◆ECOをテーマに環境に配慮



出典：BSK

トイレの排水を循環させるシステムや、排泄物を分解するバイオマストイレなどを設置。



出典：STEP ONE!

コンポストを設置し、BBQの残り食材やペットのフンを堆肥化。花壇の肥料として再利用します。



ナイトBBQ用に設置する可動式の街灯は、ソーラー発電に対応。電気の利用を抑制します。

共同事業体構成員である類設計室は、50年にわたる教育事業の実績があり、現在は大阪近郊の所有林、田畑、農場、海での自然体験学習プログラムを実践しています。今回は、淀川を舞台に体験型の環境学習プログラムを展開することで、子どもたちに淀川の歴史や生態系の豊かさについて知ってもらい、**地域への愛着を育みます**。また、建築設計・農園・宅配事業など多事業展開による企業のつながりを活用し、環境保全や啓蒙など、**淀川の魅力の情報発信拠点**とします。

【席数】最大50席【業種】教育・物販関連【営業時間】10:00～18:00（事業内容によって変動あり）【利用者層】ファミリー層【利用者数(年間)】0.5万人

事業内容

自然体験学習

ファミリー層の子どもたちを対象に、淀川の自然に触れて、**生態系**や**自然と人々の共生**、**淀川の自然環境の歴史**、**環境問題の今**、などのカリキュラムを実施することで、淀川の魅力を知り、地域の愛着を高める機会づくりとします。

▼自然の観察と分析の学習



▼干潟での生き物観察



出典：淀川河川公園HP

▼環境問題などの啓蒙授業



地域保育園の外遊び

地域の保育園と連携し、河川敷での**外遊びの拠点**として活用し、平日のにぎわいづくりにも寄与します。

▼地域の保育園の外遊び拠点に



ハードの計画

■多様な活動の拠点

本事業では、自然体験学習やワークショップなど、多岐にわたる活動を展開します。コンテナ施設の**壁を大きく開放できる仕様**とすることで、テラスと**屋内外一体で活用**、最大約50人程度のイベントが開催できるフレキシブルな活動の場を整備します。

■木材を活用したコンテナづくり

淀川河川敷で自然環境について学ぶ拠点施設にふさわしい設えとなるよう、**木材を活用したCLTコンテナ**を検討します。
※右図は最終の完成イメージであり、事業序盤は簡易なコンテナの施設とする場合があります。

▼施設の最終完成イメージ



多目的広場の西側はイベントや交流スペースとして活用します。土日祝を中心に、淀川河川公園管理センターと提携したマルシェなどのイベントを開催。イベントがない日はyogiboをレンタルし、交流型ワイガヤ図書館で借りた本をのんびり読めるなど、**市民が思い思いに過ごせる**憩いの広場として開放します。また、週末の夜を中心にナイトイベントを開催。第七藝術劇場と提携し、大阪出身の監督の映画上映や、大阪で活躍するアーティストのライブを楽しんでもらいます。

【利用者層】ファミリー層・サラリーマン・学生など 【利用者数(年間)】1万人

事業内容

▼イベントイメージ



出典：itot

◆昼はイベント兼交流スペースとして活用

淀川河川公園センターによる「淀川アーバンマルシェ」や、十三のママを応援する手づくり市「マルシェドママ」など、十三界隈でのイベントと連携し、規模を拡大して実施。yogiboの貸出しなど、憩いも広場として開放します。



出典：yogibo JAPAN



◆予定されるイベント

- フリーマーケット
- マルシェ
- マラソンイベント
- 音楽イベント
- お笑いイベント
- わくわく子供体験教室（凧上げ、竹とんぼなど）
- ヒーローショー
- 企業イベントほか

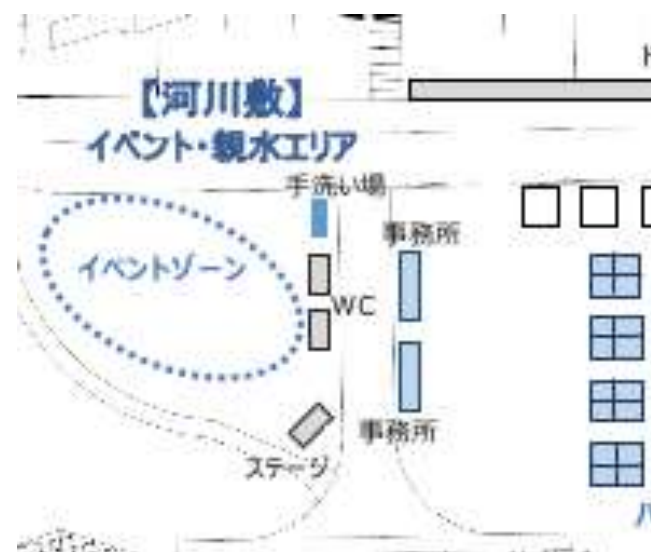
なにわ淀川花火や、大阪・淀川市民マラソンなどの恒例イベントは、**運営会社と協力**し、速やかなイベント運営をサポートします。



出典：大阪ローカル通信-P.Ak



▼配置イメージ



◆夜は大阪発のアートをフューチャー

◆第七藝術劇場とのコラボ上映

週末の夜には特設スクリーンを設置。**第七藝術劇場と提携**し、大阪を舞台とした映画や大阪の監督が手掛ける映画などを上映します。電車などの騒音でも音声が届き取れるよう、入場者には**ワイヤレスイヤホン**を配布。快適に映画を鑑賞していただきます。



出典：fenghezhan JP ZEFS--ESD

◆地元アーティストによるライブステージ

週末を中心に十三のライブハウスなどで活躍するブルースやジャズミュージシャンのライブを実施。**騒音対策として指向性スピーカー**を使用。また、イベントスペース内にバースペースを設け、お酒を飲みながら音楽を聴く、大人の夜の過ごし方を提案します。



出典：心のふるさと千万町楽校

新たに着工される船着場を拠点に、2025大阪・関西万博の会場となる夢洲をつなぐ連絡船や、十三エリアを周遊する遊覧船、また十三から京阪エリアへと向かう新航路での連絡船など、**多様な航路で舟運事業を展開**します。道頓堀や大川などを中心に、遊覧船や2階建バーベキュー船を運行している「ワンダーグループ」を筆頭に、大阪の河川で舟運事業を行う企業の共同体である、一般社団法人 大阪観光・舟運事業組合と連携するため、実績もノウハウも問題ありません。

【利用者層】ファミリー層・サラリーマン・学生など 【利用者数(年間)】13万人

事業内容



◆大阪観光・舟運事業組合と連携した運航体制

舟運事業は**ワンダーグループ**が主体となって運営します。八軒屋浜から就航している2階建のBBQバーベキュー船「メリーグリーン」をはじめ、道頓堀の周遊船など大小5隻の船を所有。また、2023年7月に立ち上がった**一般社団法人 大阪観光・舟運事業組合**と協力することで、多種多様な船の運航を実現いたします。



京阪方面への**航路は水位が低く座礁する**可能性があることや、夢洲への航路は**海を経由する**ことなど、用途に合わせた船体が必要となります。

一般社団法人 大阪観光・舟運事業組合は大阪で**舟運事業を展開する約8社が加盟**していることから、あらゆる航路での運航を実現させます。

◆万博や京阪エリアにもアクセスできる、舟運の拠点に

◆4つの航路で運航予定

十三の船着場を拠点に、万博会場となる夢洲を結ぶ**①夢洲航路**、十三から大川に入り八軒屋浜までを結ぶ**②大川航路**、枚方などの京阪エリアを結ぶ**③京阪航路**、十三界隈を遊覧する**④十三淀川航路**の4航路で運航を予定。



◆十三への誘客を強化

4つの航路を運航することで、京阪エリアや夢洲からの観光客を十三に誘客。また、**海外のOTAと連携**し、インバウンドを含めた**十三への誘客を強化**します。



※現在調整中

◆ロマンチックなサンセット&ナイトクルーズ船を運航

週末を中心にサンセットクルーズやナイトクルーズ船を運航。BBQとのセットプランなど、**十三エリアへの注目を集めるための魅力的なプラン**を提案します。



◆舟運の安全性に関して…今回連携する大阪観光・舟運事業組合の事業者全社が「大阪水上安全協会」に加盟しており、大阪水上安全協会の規約・指導のもと、事故防止対策などを推進した安全運航を遵守いたします。

広報および宣伝

◆目的とターゲットを明確にした広告戦略

施設への理解を深めてもらうため、プレオープンとして**住民向けレセプション**を開催します。その後、メディア対象のレセプションと2段階でお披露目を予定。オープン後は子育て世代向け、インバウンド、ご年配者向けと、**ターゲットに合わせた効果的なアプローチ**を展開。プラザ・オーサカ宿泊客や船舶利用客へのリーフレット配布など、**多世代に向けて告知**。

1

地域に向け、施設の認知と運営の理解を求めるために、住人を招待してのレセプションを開催

2

テレビ局、ラジオ局、出版社、ユーチューバーなどを対象にしたメディア向け内覧会を実施



若い世代には



外国人には

地域住民
やご年配
の方には

◆利用マナー・過ごし方の意識啓発

河川敷をはじめ堤防道路は散歩などで地域住民が利用するため、迷惑にならないよう2～3分程度の「**過ごし方、マナー動画**」を作成してYouTubeなどSNSで配信し、事前の視聴を促します。また、イベント時以外は建物外にゴミ箱を置かないなど、**河川敷等へのゴミ廃棄の予防**を考慮した運営を行います。

◆マナー動画の作成

2～3分程度の、「過ごし方、利用マナー」動画を作成。飲食施設やBBQエリアの予約客への事前配信やイベント会場や船舶内での動画配信などで、利用客及び周辺住民への迷惑にならないよう、マナーを周知いたします。

◆営業時以外はゴミ箱を格納

家庭ゴミなどを不法投棄を防止するため、営業時以外のゴミ箱は設置しません。また、通常時から施設全体を清潔に保つことで、汚れやゴミがあると目立つため、すぐにゴミを拾う、汚さない、という抑止効果を促します。

リスクへの備え

◆マニュアルの保管や講習で、災害時の対策を共有

今回の事業は3社での協業となることから、各施設の人員に対して緊急時の対応を周知させるために、**緊急時体制表と危機管理マニュアルを作成**します。また災害時の行動を指示する**アクションカード**を含めた各マニュアルを、各飲食店や施設にて保管します。半年に1回程度の**防災講習を実施**し、**避難経路や避難場所を全スタッフで共有**いたします。

【緊急時の体制図】

- ◆ 人員体制表に準じ、施設内に緊急時体制表を常備。
- ◆ 防災講習などによる危機管理教育。
- ◆ 管轄する消防署の指示に従って定期的に避難訓練を実施。

【避難場所の確保】

- ◆ プラザ・オーサカなど、近隣の避難施設と連携し緊急時の避難場所を確保。
- ◆ 危機管理対応マニュアルの作成。
- ◆ 専門家と連携し災害時安全対策マニュアルを作成し運用。



◆ゴミの管理徹底で、淀川の環境汚染を予防

環境への配慮として、留意しないといけないのがゴミと污水です。ゴミに関しては各施設の管理者が責任を持ってゴミの収集に努め、施設できる指定の保管場所への移動、業者への引き渡しを行います。BBQエリアでは、バイオトイレを設置するなど、排水が淀川の河川に流れ込まないような対策を行います。

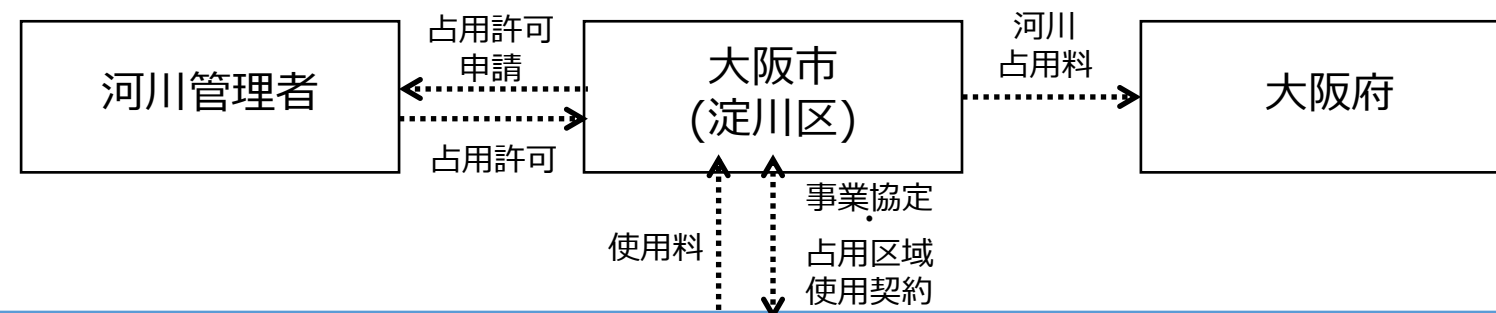
◆清潔な施設の維持管理を徹底

施設からでるゴミに限らず、河川敷全体がゴミのない美しい施設として維持管理できるように、施設のスタッフ全員で協力して日常清掃を行います。



◆事業期間をリスク側で想定した事業計画

事業期間20年間のうち、事業の準備期間と撤去期間をそれぞれ長めに見込んだ1年間と想定し、令和6年および令和25年を外した「18年間」で収支計画を組み立てることで、余力のある事業計画とした。



※ 公園区域を使用する場合は、別途必要な許可申請を行う

[各事業者と契約]

(業務委託契約)
「屋台村」
ハンバーガー
おにぎり
大衆酒場
串カツ
BAR/スナック
ラーメン
スイーツ
Etc...

RETOWN/類設計室/One Osaka リバークルーズ事業共同体

【代表企業】
RETOWN

【屋台村】
飲食店30店舗
企画
リーシング
直営店舗運営

【施設管理運営事業】
施設 兼 直営店舗責任者 1名

〈構成企業1〉
類設計室

【ネイチャーセンター企画運営】
担当者 1～2名程度

【施設管理運営事業】
担当者 1名

〈構成企業2〉
One Osakaリバークルーズ

【BBQ施設】
担当者 1名

【イベント】
担当者 1名

【舟運事業】
担当者 1名

【施設管理運営事業】
担当者 1名

代表企業 業務実績

TUGBOAT TAISHO

大阪市大正区の人口減少という大きな地域課題解決すべく、未活用河川敷広場に「TUGBOAT TAISHO」という17の飲食店と賑わいを創出し、管理運営しています。



いくのパーク

大阪市生野区にある御幸森小学校は、少子化を受け、2021年3月に廃校となりました。弊社はこの廃校を利活用し、新たな価値を創造する「いくのパーク」を企画運営しています。



構成企業1 業務実績

アドベンチャーフィールド

彩都に保有している26haの山林で探検や、火起こし調理、植生の調査などを行っています。自然の中で自分の興味関心を育むプログラムです。



自然百姓塾

彩都に保有する田畑や、農園事業部の農場(三重・奈良)を使用し、本格的な農業を体験します。常に変化する自然とともに試行錯誤する中で人間力を育みます。



構成企業2 業務実績

夢洲超花火

2022年9月25日に、万博会場となる夢洲を借りてのドローン&花火ショーを実施。花火までの時間はBBQを楽しんでいただくため、約1000ブースでのBBQの手配を行いました。



メリーグリーン

2階建のグランピング船「メリーグリーン」や、道頓堀での観光遊覧船など、5隻の船を所有。大川や道頓堀川など、大阪の川での舟運事業を行っています。

